

学部等名	医療技術学研究科
------	----------

1. 教育目的・使命の明確化

学部等がどのような人材を育てたいのか、その方向性が明確かどうかを確認します。

1-1. 当該学部等の教育理念・目的が大学全体の方針と整合しているか記載してください。
本大学院医療技術学研究科の教育理念は、大学の基本理念である実学主義教育や先端研究の社会還元と合致し、医療技術の高度化と専門職育成を通じて社会貢献を実現する点で大学方針と整合しています。

1-2. 社会的ニーズや地域との関係性を踏まえた教育の方向性を記載してください。
本大学院は、多様な医療機関との連携を活かし地域医療の課題に応える高度専門職を育成し、社会的ニーズに即した実践的教育を推進しています。

1-3. 教育目標が学生や教職員に周知されているか記載してください。
本大学院の教育目標は、学生便覧や公式サイト等で明確に示され、教職員会議や学内掲示を通じて周知が徹底されています。

自己評価	
ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した イ. 前年どおりである又は特に問題はない ウ. 改善・修正が必要な点がある。	イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。

2. 内部質保証体制の整備

3つのポリシーを起点とする教育の質を自ら点検・改善する仕組みがあるかを確認します。

2-1. 学部内における質保証の組織体制（委員会、責任者など）を記載してください。
本大学院では、教育の質を継続的に改善するため、毎月の定例委員会において意見交換を行う

とともに、学部の学科の委員会においても大学院との情報交換を行い、学部の卒業研究と大学院の研究をリンクさせながら指導教員間での情報交換を行って運営しています。

2-2. 内部質保証のための自己点検・評価の実施状況とその結果の共有について記載してください。

本大学院では、内部室保証のための年に2回の院生による研究発表を通じて、自己点検・評価を実施しています。評価結果は学内関係者に共有され、教育改善に活用されています。

2-3. IR (Institutional Research) によるデータ収集・分析の活用を記載してください。

本大学院では、学生の学修成果、履修状況、研究の進捗情報、授業評価等のデータを収集・分析しています。これにより、教育課程の改善や学修支援の充実を図るとともに、自己点検・評価の根拠資料として活用し、教育の質保証に資する体制を整えています。

2-4. 学生・学外関係者の意見・要望をくみ上げる仕組みと分析結果を教育研究の向上に生かす努力について記載してください。

本大学院では、授業アンケートやガイダンス、研究活動を通じて学生・学外関係者の意見や要望を収集し、教育内容や研究活動の改善に反映されています。

自己評価

- ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した
- イ. 前年どおりである又は特に問題はない
- ウ. 改善・修正が必要な点がある。

イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。

3. 教育課程の編成・実施

学生が体系的に学べるように教育課程が設計・運用されているかを確認します。

3-1. 3つのポリシーの策定状況と周知方法について記載してください。

本大学院では、大学の基本理念に基づきディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを策定し、学生便覧や公式サイト、学内掲示等を通じて周知しています。

これらのポリシーは、教育課程の設計や学修成果の評価、入学者選抜の方針に反映され、教育の質保証と継続的改善に活用されています。

3-2. カリキュラム・ポリシー（CP）に沿った体系的な教育課程を編成し、実施しているか記載してください。

本大学院は、策定したカリキュラム・ポリシーに基づき、専門科目・研究指導・実践教育を体系的に配置し、大学の実学主義教育の理念に沿った一貫性ある教育課程を編成・実施しています。

講義・演習・実験・実習を組み合わせた実践的な学修を通じて、専門知識と課題解決能力を段階的に育成し、社会で活躍できる技術者の育成を目指しています。

3-3. ディプロマ・ポリシー（DP）を踏まえた単位認定基準、進級基準などの学修成果の評価方法を適切に定め、周知し、厳格に適用しているか記載してください。

本大学院はディプロマ・ポリシーに基づき、成績評価基準、修了要件を学生便覧等に明示し、大学院研究科員会で審議のうえ適切に周知し、厳格に適用しています。また、学修成果の可視化と教育の質保証に資する体制が整備されています。

3-4. 教授方法の工夫（アクティブラーニングなど）と効果的な実施について記載してください。

本大学院では、アクティブラーニングを含む能動的学修法を取り入れ、双方向型授業や研究指導を通じて学修成果を高める工夫を行い、これにより、論理的思考力や問題解決能力、チームでの協働力が向上し、実社会で即戦力となる人材育成に寄与しています。

3-5. 3つのポリシーを踏まえた学修成果の把握と評価方法について記載してください。

本大学院は3つのポリシーに基づき、講義・実験・授業アンケートなどを通じて学修成果を多面的に把握し、教育成果の点検・評価を継続的に実施しています。2年間の修士課程において研究成果を2回にわたり口演発表会を通じて厳格な評価を行っています。

自己評価

- ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した
- イ. 前年どおりである又は特に問題はない
- ウ. 改善・修正が必要な点がある。

イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。

4. 教員の体制と能力開発

教員が教育・研究の質を高めるための体制と取り組みがあるかを確認します。

4-1. 教員の採用・昇格基準の明確化について記載してください。

本大学院では、教員の採用に関して、研究業績、教育能力、大学運営への貢献実績などを基準とした明確な規程を整備しています。これらの基準は大学規程集に明記され、学内で共有・運用されています。昇格審査は人事委員会等の審議を経て、公正かつ厳正に実施されています。

4-2. FD (Faculty Development) 活動の実施状況について記載してください。

本大学院では、大学全体の FD 方針に基づき、授業改善や教育の質向上を目的とした FD 活動を継続的に実施しています。活動内容は学内で共有され、教育改善に活用されています。

4-3. 教員の教育・研究活動の成果と評価について記載してください。

本大学院では、教員の教育・研究活動に対し、授業評価アンケートや研究業績の自己点検・評価を通じて成果を把握しています。これらの結果は FD 活動や人事評価に反映され、教育の質向上や研究力強化に活用されています。

自己評価

- ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した
- イ. 前年どおりである又は特に問題はない
- ウ. 改善・修正が必要な点がある。

イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。

5. 独自基準（学部の特徴）

学部が持つ独自の強みや個性、特色を確認します。

5-1. 学部が個性・特色として重視している領域について記載してください。

本大学院は、医療技術の高度化に対応した実学主義教育を特色とし、先端研究の推進や多職種連携教育、XR 等の先端技術を活用した実践的医療教育を重視している点に個性があります。

5-2. 他大学との違いを示す取り組みがあれば記載してください。

本大学院では、医療 XR やデジタルツインなど先端技術を教育へ導入し、多学科連携による実践的医療教育を展開するなど、他大学には少ない革新的取り組みを特徴としています。

自己評価	
ア. 課題を改善した又は新しい取り組みを実施した イ. 前年どおりである又は特に問題はない ウ. 改善・修正が必要な点がある。	イ

上記、「ア」を選択した場合、改善した課題又は新しい取り組みを記載してください。

上記、「ウ」を選択した場合、改善、修正案を記載してください。